

学生のところに寄り添う

性暴力被害の 理解と 教職員の対応

Zoomによる
オンライン開催
本学教職員対象

令和5年に内閣府男女共同参画局が行った調査では、16才から24才の若年層のうち4人に1人以上がなんらかの性暴力に遭っているとの結果が出ています。もし、目の前の学生が性暴力被害を受けたと訴えたら、我々教職員はどんな対応ができるのでしょうか。

今年度のカウンセリングセンター教職員向け講演会では、性暴力被害者支援にも長年取り組まれている島根大学の河野美江教授にご講演いただきます。



講師略歴

1987年 佐賀医科大学医学部卒業。2008年 島根大学 保健管理センター 講師、准教授を経て2018年より教授。2014年から一般社団法人しまね性暴力被害者支援センターさひめ理事・事務局長。2015年 島根大学学長特別補佐(男女共同参画担当)、2021年に同ダイバーシティ推進担当を経て、2023年より島根大学副学長(ダイバーシティ担当)、2024年から同SDGs, ダイバーシティ担当。2023年から松江保健管理センター長。

医学博士、日本産科婦人科学会専門医、臨床心理士、日本臨床細胞学会細胞診断専門医、日本学生相談学会大学カウンセラー、日本医師会認定産業医

講師

河野 美江氏

島根大学副学長(SDGs, ダイバーシティ担当)、
松江保健管理センター長、教授

日時

2026年

2/19(木)

10:45-12:00

参加希望される方は2月10日(木)までに Forms (<https://forms.office.com/r/8n9sYNarq5>) でお申し込みください。後日、Zoomアクセス情報をお送りします。



同志社大学カウンセリングセンター教職員向け講演会